

今こそ非戦・非武装を！平和伝道師花岡蔚 非武装中立を考える北海道行脚

ウクライナもガザも終戦の兆しが見えない中、2月末に始まったトランプとネタニヤフによるイランへの攻撃は中東を戦渦に巻き込んでいる。日本は暴力むき出しの国際社会の中でどう立ち向かうべきか？ 私たちは焼け野原よりお花畑を選びたい。

日時 6月23日(火)
会場 (占冠村) 未定
資料代 検討中
主催 検討中

日時 6月25日(木) 午後2時から
会場 (帯広市) 帯広労働会館
資料代 500円 主催 非武装中立を考える十勝実行委員会

日時 6月24日(水)
午後6時から
会場 (釧路市) 交流プラザ
さいわい小ホール
資料代 無料
主催 護憲ネットワーク
釧路実行委員会

日時 6月26日(金) 午後6時30分から
会場 (札幌市) カナモトホール
資料代 800円 主催 護憲ネットワーク北海道

日時 6月27日(土) 午後2時から
会場 (旭川市) ときわ市民ホール
資料代 500円 主催 平和を守り、くらしに憲法を活かす会

【沖縄の青い空と青い海そしてハイビスカス 平和の象徴】

講師 花岡 蔚^{しげる}さん



1943年生まれ
1966年東大法学部
政治学科卒、同年日本
勧業銀行(現みずほ銀
行)入行、留学・海外勤
務など15年以上海外

生活を経験。2003年「自衛隊イラク派兵反対集会」を機に市民運動に参加、不戦兵士を語り継ぐ会、コスタリカに学ぶ会、撫順の奇跡を受け継ぐ会などを支援しながら日本全国、ニューヨークなどを講演行脚。

著書に「14歳から考える恒久平和の作り方」、「新版自衛隊も米軍も、日本にいない」花伝社

国民の多くは憲法9条の非武装中立論を理想に過ぎないと考えているようです。

花岡さんは軍事力を抑止力と考える自衛政権の自衛隊強化、敵基地攻撃能力の保有推進こそ戦争について無理解なお花畑論と断じて、真っ向から反対しています。日本は軍備をいくら増強しても海外から絶対に攻められない保証は得られません。

軍備を放棄し丸腰になれば外国から攻められるかどうかはこれまで未経験なのでわかりません。いずれにせよ、攻められる不安が残るのであれば気休めにもならない軍事力強化でなく、確実に恒久平和につながる非武装中立政策を実現するための具体的政策を考え提案し、国会で議論させようというのが花岡さんの主張です。

その政策について皆さんと語り合い深めあう場にしよう、というのが今回の北海道行脚の目的です。

【主催団体】

(占冠) 準備中です (釧路) 護憲ネットワーク釧路実行委員会 (帯広) 非武装中立を考える十勝実行委員会 (札幌) 護憲ネットワーク北海道 (旭川) 平和を守り、くらしに憲法を活かす会

※ 上記会場は次のとおり。 23日(未定・占冠配布版・裏面参照でお知らせします) / 24日(交流プラザさいわい・釧路市幸町9丁目1) / 25日(帯広労働会館・帯広市東3条南11丁目7-1) / 26日(カナモトホール・札幌市中央区北1条西1丁目) / 27日(ときわ市民ホール・旭川市5条通4丁目)